

第1号様式

市民との意見交換会・報告書

開催地区： 門田地区	開催日： 令和8年5月12日(火)	開催時間： 18:30 ~ 20:05
担当班： 第1班	出席議員： 大竹 俊哉、笹内 直幸、中川 廣文、大山 享子、松崎 新	
開催場所： 南公民館 1階会議室		
参加人数： 男性7名、 女性2名、 合計9名		
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など 1. 意見交換の総括 (1) 議会報告、市政全般についての総括 ① 2月定例会議について 特になし。 ② 市政全般(市のまちづくりに向けた課題)について 会津若松市の人口減少について (2) 地区別テーマについての総括 ① 地区別テーマ 地域づくりについて ② テーマ設定の理由、背景 地域活動を担っている区長会や各種団体活動について、多くの地区で役員の担い手不足や会員の減少が進んでいる。 ③ 主な地域課題 役員の担い手不足を克服した事例が発言された。ボランティア組織として約40名が南公民館に登録し活動している。環境美化推進協議会の会員拡大のため、南公民館に登録しているボランティアに声かけすることを区長会長に提案した。 【その他の主な意見等】 役員の高齢化を伴う新たな担い手の育成が今後の課題として考えている。また、門田地区の各種団体との連携も視野に入れて活動することになると考えている。これからのまちづくりは、各組織の相互連携での取組を考える時期に来ていると考える。		

会津若松市議会議長 様

令和8年5月26日

会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第2項第11号の規定により提出します。

予算決算委員会委員長 小倉 孝太郎

意見交換会第1班 代表者 大竹 俊哉

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
前回の報告書12ページの質問をした。ごみの削減が行われれば、ごみ袋の有料化を元に戻すことができないか。	文教厚生委員会の質疑では、現在のところごみ袋の有料化を元に戻すことは考えていないとの答弁だった。市が宣言したゼロカーボンシティは、地球温暖化の要因である排出ガスをいかに抑えるかということも含めてのごみの減量であり、脱炭素先行地域として湊地区、会津アピオ周辺、鶴ヶ城周辺で3年間の事業を進めている。例えば、再生エネルギーを使う、市の公用車を電気自動車に変えることなどの取組を通して排出ガスの削減を行っている。そうした事業を行っているのがゼロカーボンシティのことである。	○	①		環境
地域学校協働活動推進員として学校でボランティアをしているが、学校の教材備品が古くなっている。鋸は刃こぼれ、ミシンは半分以上使えない。学校のこうした現状は、教育委員会に伝わっていないのではないか。学校の運営に関わることや学校の備品については、市の予算を確保して学校教育の充実を図っていただきたい。学校運営協議会が組織されており、学校単位で話し合うのは有効であると考えるが、複数の学校で協議を行っても意見が深まらないため、個人的には反対である。	現状を確認し、報告書で回答したい。	○	③	後日調査し、事後報告する。(事後報告書P9に記載)	学校施設
門田小学校のプール掃除をボランティアで行っているが、掃除の道具がそろっていない。ホースが短いのでバケツリレーで行っている。道具をそろえて掃除をすれば短時間でできるがそのような体制になっていない。この現状を変えてほしい。	門田地区には、南公民館と各種団体が整備してきた機材がある。門田小学校で準備できない機材があればテントやニュースポーツの機材等の貸出しを行ってきた。ホースについても長いホースを門田地区運動会実行委員会で購入し、体育連盟が管理している。門田小学校から南公民館に機材の貸出しについての申し出があれば貸出可能となっている。	○	①		学校施設

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
市の人口減少について、高校卒業後に、大学や就職を理由に人が市外へ流出していることが一番大きな問題だと考えている。希望する就職先が無いことが理由の一つとなっているため、市として整えていってほしい。	令和9年度からの次期総合計画のための講演会で、講師からの問題提起の一つに人口減少対策についての指摘があった。男女ともに大きく減っているが、特に女性の割合が大きい。現在、市の事業として若い方々に市へ来てもらうための補助制度を整えて情報発信している。 市民の中にも人口減少対策について様々な問題意識を持っていると考えている。市と議会も、共通の認識持っており、粘り強く実行していく。	○	①		少子高齢化

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくりについて

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
	テーマ「地域づくり」としたことについての説明と進め方について。地域活動を担う区長会や各種団体活動については、多くの地区で役員の担い手不足や会員の減少等が進んでいると聞いている。 4月21日に開催した門田地区の事前打合せでも各種団体活動の中で同じような課題、問題があることが見えてきた。はじめに、各種団体の活動の現状とどのような地域貢献を行っているのか伺う。次に、役員の担い手について伺い、最後に、議会で応援できることについて聞き、本日のまとめをする。				
区長会の現状だが、門田町内会は45ある。そこで、新たな区長になった方は、順番制や、声掛けを重ねて役員になってもらった。区長会の役員は、複数回お願いしないと担い手がいない現状である。今回困ったことは、市からの要請による役員選出である。役員を掛け持ちで行っている方が多く、見つけ出すのが大変だった。例えば、学校運営協議会について区長会として選出することになったが、門田小学校、城南小学校、第五中学校の3校が対象となり、人選した経過にある。	ご意見として伺う。	○	②		地域社会
交通安全協会の活動は、春、夏、秋、年末年始の4回全国交通安全週間に合わせて活動している。朝の通学時に7名体制で各学校の交差点に立ち交通誘導をしている。会員の高齢化と新規加入者が少ないため会の体制維持が難しくなっている。地域貢献としては、小・中学校の児童・生徒に対し交通安全の指導を行っている。また、門田地区文化祭、敬老会、鶴ヶ城ハーフマラソン大会で交通指導を行っている。	ご意見として伺う。	○	②		地域社会

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくりについて

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
民生児童委員協議会の活動状況は、定数が28名のところ、現在24名で2名は申請中で承認されておらず、欠員が2名となっている。24名で主任児童委員も合わせ活動している。毎月の定例会と各地区の見守り、相談活動をしている。活動の中で、行政福祉相談員と連携して動いていることで、欠員2名を補う活動に結びついている。役員の高齢化と担い手探しを今後の課題として考えている。また、門田地区の各種団体との連携も視野に入れて活動することになると考えている。これからのまちづくりは、各組織の相互連携での取組を考える時期に来ていると思っている。		○	②		地域社会
婦人消防隊の現状は、令和7年に新たに2名が加入した。門田地区や市の様々な行事に婦人消防隊の法被を着てPR活動をしている。婦人消防隊の課題は、市内に16地区あるが、婦人消防隊の組織のある地区が、門田、城西、行仁地区の3地区だけとなっていることである。地元貢献としては、門田地区の各種行事、敬老会、鶴ヶ城ハーフマラソン大会に参加している。また、春と秋の火災予防週間では、城南消防署と広報活動を行っている。		○	②		地域社会

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくりについて

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
環境美化推進協議会の組織について、令和7年度末に区長会長に相談した。その内容は、長年、協議会を支えてきた高齢会員が退会をしたことで、会の運営ができなくなり会を解散したいというものであった。会長から、新たな会員の紹介を受け継続することになった。令和8年4月の総会で役員改選を行い、新たなメンバーで再出発した。今年の活動は、門田小学校、城南小学校、小金井小学校と第五中学校に年2回、花壇の植栽と草むしりを行う予定である。また、文化祭に向け、環境美化に関する標語コンクールも開催する。		○	②		地域社会
環境美化推進協議会の役員をしている。区長会長から3名の方を紹介してもらい、これまでの組織運営を見直し、新たなメンバーの意見を取り入れ活動している。グループLINEを取り入れ、連絡体制を変えることにより、連絡が分かりやすく短時間でできるようになった。実際の活動は、5月の各学校での美化活動などが、これから始まる。	ここからは、出席者と話し合いを深める。	○	①		地域社会
地域学校協働活動推進員として学校で学習支援をしている。環境美化推進協議会の会員拡大のため、南公民館に登録しているボランティアが約40名いることもあり、声掛けすることを区長会長に提案した。今回は、環境美化推進協議会の会員拡大につながったが、他の各種団体の活動に参加を呼び掛けることもできると考える。今後、こうした仕組みづくりを考えていきたい。		○	②		地域社会

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくりについて

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
環境美化推進協議会の新しいメンバーとして、声を掛けてもらった側の者である。花を植える活動への声掛けがきっかけであり、最初から地区から1名必要だ、などの押し付けの形であれば、断っていたと思う。知った人から声を掛けられることで安心感があり、入っても良いと思うようになった。 また、市民との意見交換会の存在は以前より知っていたが、出席することはなかった。しかし、今回協議会に入ることによって市民との意見交換会にも参加し、皆さんで話し合っていることを知ることができた。 土起こしと花植えの作業はこれからだが、活動を頑張りたいと考えている。	3名の話から、環境美化推進協議会は、会員が継続して運営してきたが、新たなメンバーの加入で運営方法をより良いものにしていくことを話し合いで決め、活動を少し変えたとのことだった。また、新たな会員からは、他の団体でも取り入れられるワードが幾つか出たと考える。知り合いから丁寧に話され、参加に結びついたことにより、さらに活動の幅が広がったことなど、皆さんと考えていきたい事例である。	○	①		地域社会
前回に続いて2回目の参加である。今回参加した理由は、地域づくりの活性化との関係で、地区の防災組織、自主防災組織のことについて町内で計画していきたいと考えているためである。先月、町内会総会で自主防災組織について提案して承認され、今後、自主防災組織を具体的に設立することになった。ただ、自主防災組織の課題は、一つの町内だけでは活動が困難であり、県や市、近隣町内や各種団体との連携などが必要となってくる。これから進める上で助言等をお願いしたいと思う。万が一に備えるための自主防災組織と各種団体の様々な活動と連携していきたいと考えている。		○	②		地域社会
中野町内会でも、自主防災組織の計画がある。以前、若松第3地域包括支援センターとの懇談会で自主防災組織に関するテーマで話し合いがあった。今後門田地区全域でこの防災計画が作成されていく予定であれば、連携していきたい。		○	②		地域社会

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくりについて

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
飯寺区長会長をしている。現在、飯寺町内会は、10区で一つの町内会であり、10名の区長がいて私がその会長を務めている。若い方で40代、また50代が多い。役員は順番のところとくじ引きや、じゃんけんのところがある。役員になれば若い方でも協力的で町内のために働いていただいている。今後も役員のなり手については、課題となってくると思う。		○	②		地域社会
	本日のまとめである。これまで各種団体で活動してきたが、各団体役員の高齢化と会員拡大が思うように行っていない。そのことに対し、新たな会員の呼び掛け方法の事例や、新たに会員になった方の発言、仕組みづくりへの提言があった。また、自主防災組織の計画について、若松第3包括支援センターの問題提起と複数の町内から検討についての発言があった。さらには、団体間の連携の必要性についても発言があり、門田地区においても地域づくり組織の検討も視野に入ってきたと考える。				

市民との意見交換会・事後処理報告書

門田地区

件名	処理(対応)内容	備考
1. 小・中学校の備品管理について。(P2)	【市民からの要望・質問】 管理はどのように行われているのか、備品台帳等はあるのか。 【事後処理結果】 5月25日に学校施設給食課より回答を得た。 学校で保有する教材などの備品については、備品管理システムにおいて台帳管理を行っている。毎年、台帳と備品との確認を行い、適正な管理に努めている、との回答であった。	
2. 小・中学校の備品修理について。(P2)	【市民からの要望・質問】 修理に至るまでは、どのような手順で行われているのか。 【事後処理結果】 5月25日に学校施設給食課より回答を得た。 教材備品に修理が必要な場合は、各学校から学校施設給食課へ修繕依頼を行い、適宜修理を行っている、との回答であった。	
3. 小・中学校の備品管理、修繕の教職員の負担軽減について。(P2)	【市民からの要望・質問】 教職員が忙しくない管理、修繕はできないか。 【事後処理結果】 5月25日に学校施設給食課より回答を得た。 教材備品の管理については、使用者である教職員において適切に管理してもらう必要があり、備品台帳管理におけるシステムの活用など、教職員の負担軽減に努めている、との回答であった。	

会津若松市議会議員 様

令和8年5月26日

予算決算委員会委員長 小倉 孝太郎
意見交換会第1班 代表者 大竹 俊哉